

様式3

吹 田 市 長 あて

電話 (06) 6879 - 7125

01-0958

大阪大学(吹田)医学部附属病院統合診療棟等新営その他工事

吹田市 山田丘1-1

電話 () - (担当者:)

電話 () —

令和 8 年 (2026 年) 7 月 31 日 まで

区分	新築	増築	改築	新設	増設
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					

☐ その他 ()

受 付

ガイドライン取組事項チェックリストによる

・その他必要と認める図書

第 号

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針	1. 環境に関する法規等を遵守するとともに、省エネルギーの推進、廃棄物発生量の削減、資源のリサイクル、地域環境負荷の軽減、緑地や生態系の保全等を推進します。 2. 社会の様々な分野において人類が直面する環境問題を解決する次世代のリーダーとなる人材を育成し、研究成果を通じて地域・国・地球が抱える環境問題の解決に貢献します。 3. 安全で快適な修学・就業環境の確保と、研究活動に伴う環境に与える負荷の低減を両立させた持続可能なキャンパスを構築します。 4. 大学キャンパスを、環境に関する教育の場として、また研究の実証実験の場として活用し、その成果を社会へ還元します。 5. 持続可能なキャンパスの構築に向けた取組みを通じて、大学構成員の協働および大学と地域社会・周辺自治体・企業等との連携を推進し、先進的な環境マネジメントシステムを導入します。
----------	--

当該事業における環境まちづくり方針	良好なキャンパス環境を維持し、近隣への影響を最小限にします。
-------------------	--------------------------------

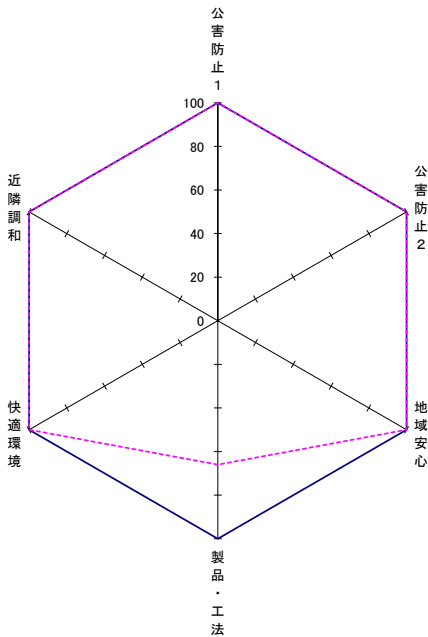
1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

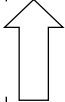
$$\frac{\text{実施率}}{\text{（小数点第2位以下切り捨て）}} = \frac{100}{\text{パーセント}}$$

$$\frac{\text{実施した・一部実施したの項目数}}{\text{該当なしを除いた項目数}} = \frac{49}{49}$$

----:方針, —:実施報告書



公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
20	13	3	3	5	5
20	13	3	3	5	5



公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
20	16	4	2	5	5
20	16	4	3	5	5

主な実施内容

- ・空ぶかしを抑制する等、環境に配慮した運転を行いました。
- ・建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
- ・道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
- ・建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。

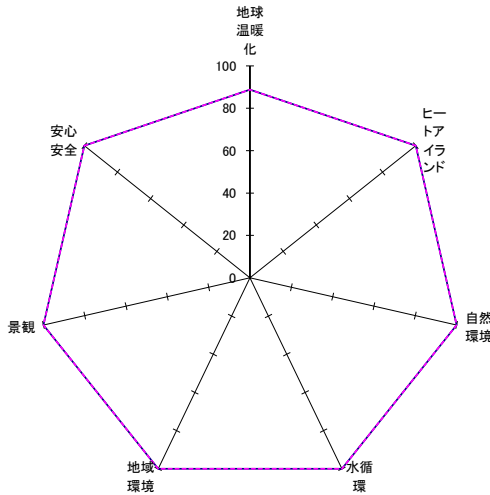
環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 97.1 パーセント
(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数 34
該当なしを除いた項目数 35

---:方針, ---:実施報告書



地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
8	2	4	3	10	4	3
9	2	4	3	10	4	3

地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
8	2	4	3	12	4	3
9	2	4	3	12	4	3

主な実施内容

(1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 1249.3 t-CO2/年

導入内容

空調熱源の排熱利用、CO2による換気量制御、LED照明(全館15,988台)、ファンインバータ、高効率トランスなどを採用し、高効率化及び省エネルギー化を実現しました。

(2) 緑地面積 緑化率 27.1 % 条例基準分 16.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

緑化率に換算されない緑地(バルコニー緑化22.28㎡、東側外構:芝生651.42㎡、低木地被混植約162.86㎡、西側外構:常緑低木混植67.66㎡)を設置しました。

(3) 雨水利用 雨水貯留量 110.0 t うち雨水利用量 - t

利用目的 ☐ 植栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他

(4) 上記以外の主な実施内容

・基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
・キャンパス内の緑地へ計画緑地を連続させて配置しました。
・騒音を発生させる設備の設置については、消音器の設置、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振動対策を行いました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
26	実施する		該当なし
27	実施する		該当なし
31	実施する		該当なし
41	一部実施する		該当なし
43	実施しない		実施した
89	実施する		該当なし
90	実施する		該当なし
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害を防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を出来る限り使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワーショベルなど)をできる限り使用いたしました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害、低燃費車の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 通勤等で利用する車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設作業時は、仮囲いと養生シートを設置し、解体作業時は、仮囲いと防音シートを設置します。なお、必要に応じて防音シートや防音パネルの設置等、さらなる防音対策を行いました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	粉じん飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への粉じん飛散を防止するため、解体・掘削作業、土砂等の堆積場の設置等を行う場合は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。
26	アスベストの調査など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	最終的に確定した改修工事範囲の建材調査を行った結果、アスベストは含有していませんでした。
27	アスベスト飛散防止対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	26でアスベストが無かったため、該当なしとしました。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
28	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
29	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
30	土壌汚染対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	法令に基づく土壌調査を実施済み。一部で汚染土壌が検出されたため、環境保全指導課と協議済み。適切な措置を行い、処分を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	地盤改良時の配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	地盤改良が不要となったため該当なしとしました。
32	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
33	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを溶解させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
34	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
35	解体時の環境汚染対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	解体を伴う工事の際は保管されているPCB使用機器、空調機器などに使用されているフロン類などやその有害廃棄物の状況を工事実施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な処理を行いました。
36	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレを設置した際は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
37	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	地域の交通情報を把握し、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
38	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	生徒が安全に登下校出来るよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
39	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
40	児童などへの見守り、声かけ	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	大学構内のため該当しませんでした。
41	地域の防犯活動への参加	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	特に要望は無かったため実施しませんでした。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
42	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率の良い機器の利用などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
43	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	掘削工事で発生した残土を、躯体背面の埋め戻しに再利用して、残土発生を抑制しました。
44	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
45	仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
46	仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。
周辺の環境美化			
47	周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、必要に応じて学内道路の清掃を行いました。
48	場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
49	打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏季において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
50	工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにしました。また、解体工事を行った際は、市条例に基づき、事前に工事の概要を表示した標識を設置しました。
51	苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
52	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	学内施設や病院と連携を図り、利用状況に配慮した工事計画とし、必要に応じて学外その他施設への説明を行いました。
53	騒音、振動などの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	学内施設に対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしました。
周辺の事業者との調整			
54	複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、学内や周辺地域の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。		
55 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果(CASBEE A)を実現し、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により現場などに表示しました。
56 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)設計	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	用途が病院のため、該当しませんでした。
57 高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空調熱源の排熱利用、CO2による換気量制御、LED照明(全館15,988台)、ファンインバータ、高効率トランスなどを採用し、高効率化及び省エネルギー化を実現しました。
58 再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業予算の都合上、実施しませんでした。
59 エネルギー効率の高いシステムの導入	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空調熱源の排熱利用、CO2による換気量制御、人感センサーによる照明制御を採用し、熱源機器や照明機器のエネルギー効率と環境性を重点に置いたシステムとしました。
60 エネルギーを管理するシステムの導入	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	熱源や空調機器は自動制御により効率的な運転を行うシステムとしました。また、切忘れ防止、無駄な温度設定になっていないかなど、中央監視から運転管理を行うシステムとしました。
61 冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設計に配慮しました。
62 建築物のエネルギー負荷の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	中庭を利用した採光の確保、Low-Eガラスの採用および外装の断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。
63 長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
64 環境に配慮した建設資材などの製品の採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資源循環や環境保全に配慮した製品を積極的に採用しました。ただし、国産木材の使用については厳しいコスト状況により実施しない方針としました。
ヒートアイランド対策を行います。		
65 建物屋根面、壁面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	バルコニーに緑化率に換算されない緑化(合計22.28㎡)、R階一部屋根面に高反射遮熱タイプの防水シート(合計2025.21㎡)を採用し、建物の屋根面の高温化を抑制しました。
66 地表面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	外構に緑化率に換算されない緑地(東側外構:芝生651.42㎡、低木地被混植約162.86㎡、西側外構:常緑低木混植67.66㎡)を設置しました。※東側:土留め壁と雨水樹干渉のため雨水樹位置調整したため芝生面積が減となりました。西側:躯体形状と生垣との取り合い調整により常緑低木混色面積が減となりました。
自然環境を保全し、みどりを確保します。		
67 動植物の生息や生育への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業計画地に隣接する緑地と連続して緑地を配置、吹田市開発事業の手続き等に関する条例の緑化率に換算されない緑化(東側外構:芝生651.42㎡、低木地被混植約162.86㎡、西側外構:常緑低木混植67.66㎡)を設置しました。※東側:土留め壁と雨水樹干渉のため雨水樹位置調整したため芝生面積が減となりました。西側:躯体形状と生垣との取り合い調整により常緑低木混色面積が減となりました。
68 地域のシンボルツリーの保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	事業計画地にシンボルツリーが無いため、該当しませんでした。
69 既存の植生の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	計画地の現況が駐車場であるため、該当しませんでした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
70	地域に応じたみどりの創出	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	キャンパス内の緑地へ計画緑地を連続させて配置しました。
71	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	駐車場を設置しなくなったため、該当しませんでした。
72	屋上緑化など	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	吹田市開発事業の手続き等に関する条例の緑化率に換算されない緑化(東側外構:芝生651.42㎡、低木地被混植約162.86㎡、西側外構:常緑低木混植67.66㎡)を設置しました。※東側:土留め壁と雨水樹干渉のため雨水樹位置調整したため芝生面積が減となりました。西側:躯体形状と生垣との取り合い調整により常緑低木混色面積が減となりました。
73	法面緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	法面が発生しないため、該当しませんでした。
74	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は地域の環境、日照条件に合わせた樹種を選定しました。
水循環を確保します。			
75	水資源の有効利用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	既存水源を活かし井水の飲料化を行いました。
76	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水流出を抑制するために雨水貯留槽(110㎡)を設置しました。またキャンパス内の調整池を利用しました。
77	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	外構に緑化率に換算されない緑地(東側外構:芝生651.42㎡、低木地被混植約162.86㎡、西側外構:常緑低木混植67.66㎡)を設置しました。※東側:土留め壁と雨水樹干渉のため雨水樹位置調整したため芝生面積が減となりました。西側:躯体形状と生垣との取り合い調整により常緑低木混色面積が減となりました。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
78	騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を発生させる設備の設置については、消音器の設置、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振動対策を行いました。
79	住宅における防音サッシ等の設置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	用途が病院のため、該当しませんでした。
80	駐車場の配置計画時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は近隣住居に隣接しない配置としました。
81	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、廃棄物置き場の位置などに配慮しました。(既存利用)
82	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ボイラー、エンジンなどの機器は、上階に設置し、排出ガスを十分に拡散させる計画とします。また、ボイラーは低NOx型機器を採用しました。
83	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
84	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。
85	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
86	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	学内施設に対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしました。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)		
87 日照障害対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、できる限りその軽減をしました。
88 電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を机上計算し、影響範囲図を作成することで事前に把握し、近隣住民に説明しました。
89 電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	電波障害が生じず、該当しませんでした。
90 プライバシーの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	近隣住民のプライバシーを侵害するとの意見、苦情はいただかず、該当しませんでした。
景観まちづくりに貢献します。		
91 地域への調和	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
92 景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
93 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画と設計を行いました。
94 重点地区指定に向けた協議	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	建設地が大学キャンパス内であるため、該当しませんでした。
95 景観形成基準の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
96 屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	屋外広告物の設置がないため、該当しませんでした。
安心安全のまちづくりに貢献します。		
97 歩行者が安全に通行できる工夫	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	歩道のレベルを車道より上げ(150mm)、学内において、歩行者が安全に通行できる空間を整備しました。
98 災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	災害拠点病院として、緊急時に対応できる設備機器(非常用電源、備蓄倉庫)の整備を行いました。
99 防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建物入口にはセキュリティを設け、主玄関には守衛室を設置しました。